



ウクライナに平和を！ 人と人が殺し合う戦争に 反対する

- ウクライナにロシアが軍事侵攻して戦争が始まった。
- この原稿を書いている4月22日現在、2月24日に始まった、この戦争は終わっていない。停戦交渉がおこなわれているが停戦の気配すら伝わってこない。
- そしてたったいまも、ウクライナの地で人と人が殺し合いをしている。しかし日本での報道で知る限り、この戦争の理由や仕組みがよくわからない。国際政治は複雑で難しいのかもしれないが、私は戦争だけはやらないでほしいと言いつける。なぜならば――。
- 戦争をやると決めるのは偉い人で、戦争をやられて殺し合いをするのは庶民だからだ。偉い人が判断を間違えれば、たちまち私たちの大切な日々の暮らしが破壊される。
- 戦争をやらないことが政治にかかわる者の最大の仕事だと私は考えています。日本国憲法9条を言うまでもない。
- 私が生まれた1970年代は、大人たちが日本がした戦争の悲惨を語り、青年たちは沖縄をはじめとする日本の米軍基地からベトナムへ軍用機が飛び立つことに反対していた。そして今日まで、世界はいつもどこかで戦争があった。
- 大人になるにつれ、それらの戦争に反対する人びとが戦地にも非戦地にも世界各地にいて、その戦争が終わっていくのだということも知った。戦争は世界中の人びとの反戦の気持ちが集まることで終わらせることができる。
- だからいま私は、この戦争に反対する。



入園直後に民営化を通知した目黒区に悪意はなかったろうが、そういうことをされた保護者たちが、どう思うかを考えていなかったようだ。

その保護者説明会は、時間が選べない日曜日の午前中開催に限定され、しかも告知は2週間前を切ることもあった。こうした区長と区役所の姿勢は、生活者である区民を見下し、黙って計画にしたがえと言わんばかりだ。

「ひもんや保育園有志の会」の人たちは、「こう言っている。昨年4月に新入園児が入園してわずか半月で突然、区立ひもんや保育園は目黒区が素案とする民営化計画の対象園になることを通知された」

不安は疑問になり保護者たちは「有志の会」をつくって調べてみると、世田谷区では民営化した保育園の評価を、第三者の学識経験者などに依頼していることがわかった。世田谷区は区民に寄り添って、慎重な姿勢で民営化を進めている。

だが、目黒区長は「有志の会」との面会を拒否し、目黒区の子育て支援部長は保護者説明会で保護者が求めた、すべての質問に回答をしなかった。

「有志の会」の保護者たちは、反対一辺倒ではなく、同じテーブルに座り、話し合いをして、相互理解での解決を望んでいる。

区立保育園「民営化計画」に疑問と不安の声が上がり続ける1年間がすぎた
区長と区役所は、対立と分断を深める、上から目線の態度をやめろ！
保護者たちと同じテーブルで話し合うべきだ！

こんにちは！

目黒区議会議員

金井ひろし です。

District Administration Report & Activity Report



区政・活動報告レポート

No.12 2022 春号

ADDRESS 〒152-0032
東京都目黒区平町1-21-20-303
TEL : 080-5195-2909
E-mail : kanai.hi64@gmail.com
Official Web Site : kanai-hi64.com



facebook



twitter



Official Web Site



金井ひろしE-mail



誰もがともに学び、育ち、「共に生きる！」

Create a society where everyone can learn and grow together and realize "unity in diversity".

누구나 같이 배우고, 성장하고, '같이 사는 세상!' / 全员互助互学, 共同成长, 实现“共生向荣”

区立憲民主党

「まだまだ質疑応答の練習が必要だと思っ」という私の反省

今年度の本会議・第1回定例会が2月に開かれ、一般質問に立ちました。質問項目は3つ。

- ①保護者の権利としての学校における保育所等訪問支援事業について
- ②ヤングケアラーへの積極的支援強化
- ③ワーカーズコープ(労働者協同組合)の活用支援

で、どれもが教育と福祉と労働について目黒区の基本姿勢を問うものでした。一般質問は事前通知の書類を必要とするから、質問も回答も、味気のない官僚的な棒読みになりがちだ。

今回の一般質問も、私の質問力が弱かったのか、実行的な議論に深まらず、一般論に流れてしまった。

具体的な議論の深まりが改革へむずびつくように再度チャレンジしたい。

一方、3月の予算特別委員会は、事前通知なしにキメ細かな質問ができるので、問題意識の限りをくわして多様の質問を展開しました。

- ①平和記念事業の沖縄項目追加
- ②被災者生活再建支援の充実
- ③区民センタープール活用フィッシングパーク設立提案
- ④障害者の移動支援のチェック体制
- ⑤学童保育クラブの昼食提供
- ⑥母子生活支援施設の運用
- ⑦商店街プロモーション事業の充実
- ⑧シェア・サイクル事業の安定化
- ⑨区立公園管理の進捗状況
- ⑩お菓子の家づくり教室の推進
- ⑪都立大駅前カラスのゴミ散乱対策
- ⑫特別給食の充実
- ⑬インクルーシブ教育研修の精査

という13の質問でした。これらの質問は、行政のチェックと提案実行の手応えを感じました。

この区議会活動は『目黒区ホームページ』の「インターネット議会中継」「金井ひろし」でご覧いただけます。民主政治は形式主義に偏ると、退屈さをまき散らかします。ごたぶんにもれず目黒区議会にもその傾向があります。それを打破しようと考えて区議活動をしていますので、どうぞ区民のみならずには目黒区議会を厳しくチェックしていただきたく、議会の傍聴とインターネットの視聴をお願い致します。



「生きづらい時代、今、私たちにできること」目黒でつながる会が発足イベント開催・辻元清美さんを囲んで車座集会 in めぐる



辻元清美さんが、目黒を疾走した。発足したばかりの市民の集い「目黒でつながる会」が、キックオフイベントとして「辻元清美さんを囲んで車座集会 in めぐる」を、4月24日に開催した。

昨年の衆議院選挙で、手痛い落選をした辻元さんは、参議院議員をめぐりて全国行脚中です。目黒でつながる会は、その辻元さんへ車座集会を提案して、文字通りつながった。金井ひろしと後援会かなかな会は、この車座集会に両手をあげて協賛しました。

東京地方の行脚へやってきた辻元さんは、24日の昼過ぎからJR目黒駅・西口での街頭アピールで語った後、車座集会の会場である中目黒住区センターへやってきました。

そこには合計60名のリアル参加者とりももト参加者が辻元さんを

待ち受けていた。

気さくで鋭い辻元さんは「誰もが生きやすい日本社会をつくるために国政の現場に復帰したい」と話し、その率直で情熱的な言葉を聞いた参加者たちが次々と発言する、爽やかな車座集会が実現した。誰もが自分の言葉で語り合う集会は気持ちがいい。

目黒の市民運動に新風を吹き込んだ目黒でつながる会は「地元議会の審議会や関連する裁判の傍聴」「関心事をより理解するためのゆるり勉強会」「気づきにつながる映画の上映会」「誰でもゆるるといわれる場所づくり」をテーマにかかげて活動を広げてゆく計画だと発表しています。

目黒でつながる会のメールアドレスは Megu.tsunaga@gmail.com です。

※郵送読者のみなさまには辻元清美さんのプロフィールチラシを同封させていただきます。



第10回

区政報告会 & タウンミーティング

— 草の根運動の現場から発言を集めて —



リアル参加とリモート参加で合計20人のみなさんが集った2月13日(日)の第10回は「発言するタウンミーティング」になりました。

私が「目黒区のコロナ状況」を中心に区政報告をして、それから5人のゲストスピーカーが次々と発言してくれました。5人のみなさんは生活者として草の根運動をしている人たちです。

最初は「緑が丘児童館学童の民営化反対運動と署名活動」についての報告と署名要請がありました。保育園について学童も民営化の大きな流れが始まり政治問題化しています。

2番目は、その「区立保育園の民営化計画」についてですが、この問題はもっぱら「区長と区役所が、保護者や現場の人たちの声を聞くこととしない姿勢をとっている」ことを憤るものでした。

3番目は、今後レポートでも取り上げますが「被災した避難者が目黒区から提訴された問題」です。

休憩をはさんで、4番目は「目黒区の広報のあり方」と「町会・自治会の存在目的」に疑問を呈する問題提起がありました。

そして5番目は「障害児を普通学級へ」のインクルーシブ教育運動を目黒区でおこなっている方々からの活動報告でした。

すべての発言が、保育、福祉、教育、地域にかかわる身近な問題提起なので、理解と共感が促進され、ミーティング会場は静かな熱気をはらみました。

今後タウンミーティングでは草の根運動からの発言を継続していくと思います。

次回の第11回は5月29日(日)に開催します。4ページでご案内しておりますので、お気軽にご参加ください。お待ちしております。



学生インターンの主張

一月から三月まで金井ひろしの区議活動を経験した二人の大学生

いま私が、いちばん怒っていること



ペンネーム：とら
人間社会学部2年生
将来の希望
模索中

私を感じている怒りは、自己管理ができない自分自身です。

学生生活を送る中で、勉強やバイト、サークル活動をぬかりなく充実させるためには、食事と睡眠は欠かせない大切な要因です。しかし、一人暮らしを始めた学生などは特に生活リズムが崩れやすく、健康に害をおよぼす可能性が非常に高いと思われます。

体調を崩してしまうと、周りにも迷惑がかかるし、自分自身も対処に困ります。また、自分の管理不足が恥ずかしいと感じます。大学では自分の興味のある専門的な分野を学びますが、それだけではなく、今一度、生活の基本知識を知りたいです。

食事については特に悩みます。ダイエットをしたいと思います反面、間食してしまい、気持ちと行動が矛盾してしまいます。時間がない時は近くのお店で、栄養のバランスを考えない食事をついつい選びがちです。コンビニやスーパーに並ぶお菓子は、一度食べたら止まらなくなる作用があるのでしょうか。一つの値段がお安めでも、買う頻度が多ければ、どんどんお金が消費されていきます。これらのことから、お金や健康面など、様々な観点から、自分の体調管理を徹底させていきたいと思っています。ですが、なかなか器用に管理できない自分に怒りが止まりません。



ペンネーム：かん
人間関係学部3年生
将来の希望
地元で就職すること

いま私が、いちばん怒っていることは、新型コロナウイルスです。私は大学3年生なのですが、ほとんど大学に通ったことがありません。教室の位置なども把握できておらず、学校に用事があっても、自分の大学なのにもかかわらず校内で迷子になってしまいます。

また、大学の友達も全然できていないのが現状です。コロナがなければ、毎日学校に通って、対面授業を受けたあとに、大学の友達とご飯を食べに行ったり、空きコマには一緒に課題をやったりしていたのかと思うと、コロナが憎いです。

また、私は大学生になったら海外旅行に行ったり、いろいろな場所に遊びに行きたいと思っていましたが、コロナによってその夢は打ち砕かれました。家でリモート授業を受け、アルバイトに行き、寝るという生活の繰り返しです。私は薬局でアルバイトをしているので、働くことができますが、友達のなかには飲食店でアルバイトをしているため、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ているときには、シフトの時間を削られたり、まったく働けない人もいて、学生生活の継続を脅かされています。

早くコロナが終息することを願っています。

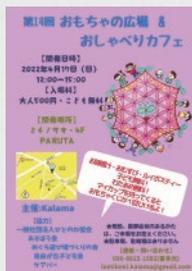
多様性を誇りに。わかちあうことを力に。

Create a society where everyone can pride themselves on living in a diverse society,

다양성을 자랑으로. 서로 나눔을 힘으로. 서로 도와주는것으로 안심을



地域の知り合いをつくる 毎月一度の小さなお祭り



目黒本町にあるミチノサキ4FのPARUTAでは、毎月・第3日曜・12:00-15:00に「おもちゃの広場&おしゃべりカフェ」を、Kalama主催(5グループが協力)で運営しています。子供は入場無料で、お味噌汁・おむすび・レイボスティー・わたあめ無料。マイカップを持っていくと「おもちゃクジ」が1回ひけます。大人入場料1名500円。時間があるとき金井は、わたあめ係をつとめています。

連絡先: 善本光・携帯: 090-8815-1092
e-メール: lomilomi.kalama@gmail.com

自由が丘子ども会 恒例「地引き網」6月12日



14回目となる今年は6月12日(日)に、いつもの三浦海岸で開催予定です。地引き網と野外バーベキュー昼食を楽しみましょう。

参加費: 大人1名	4,500円
就学児1名	1,500円
3歳 - 5歳 1名	500円
0歳 - 2歳	無料
ヘルパー付で2名	6,000円
先着200名まで。	

詳しい情報は「金井ひろしホームページ」でご確認のうえ、参加申し込みをして下さい。

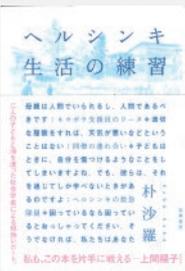
毎週・水曜日の朝 都立大駅前

朝1時間、区民のみなさんへ、ご挨拶し、私の意見を話しています。ご意見ご要望がありましたら、お気軽にお声がけ下さい。市民活動家や学生インターンに話してもらい、多様な意見をまじえることもあります。◎私の体調不良、悪天候の日、どうしてもスケジュールが合わない場合は、中止いたしますので、ご了承下さい。



思わず吹き出すほどの面白さ そして社会について考えさせる

京都生まれの社会学者である朴沙羅(ばく・さら)さんが、子供2人と共にフィンランド・ヘルシンキで生活を開始した記録エッセイである。北欧の社民社会の国へ移住し、初めて体験する労働、子育て、学校教育などについて、自分史をからめながら、読みやすく小気味いい文体で書かれている。ぜひ一読をおすすめします。



『ヘルシンキ生活の練習』
朴沙羅・著 筑摩書房・刊
288ページ 定価・1980円
ISBN978-4-480-81562-0

ホワイトデーに ティラミスを作りました

ティラミスは我が家で一番人気の手作りデザートです。バレンタインデーのお返しにと日頃の協力への感謝の気持ちをこめて食材を集めて作りました。家事では料理が好きなので、得意料理が多くあります。もちろん掃除洗濯同様に家事は後片付けが肝心なのは当然です。



拝啓 忘れられそうな元総理大臣殿 もったいないアベノマスクの 再利用法



私が勤務する介護事業所の仲間が、無料で配布される「余ったアベノマスク」の「ほぐして縫い直せばふきんになる」再利用法を考えつきましたので、さっそく1000枚取り寄せました。この時点で8200万枚も余っていました。保管料だけでも10億円と聞きました。思いつきだけで考えもせず税金の無駄遣いをするのは許せません。もったいないので再利用します。

第11回 金井ひろし 区政報告会 & タウンミーティング開催!

- リアル参加会場とzoomリモート参加環境の両方を用意いたします。
- zoomリモート参加をご希望の方は、下記の「金井ひろしQRコード」もしくは「金井ひろしのe-mailアドレス」へ、5月26日までに、お申し込み下さい。zoom会議へご招待する返信メールを差し上げます。
- リアル参加会場は、密にならない座席の配置と窓開け換気をほどこします。温度対策が必要な方はお申し出下さい。
- リアル会場へ参加される方は、マスクの着用と、用意しておりますアルコールで手指を消毒するか、洗面所での手指洗いをお願いします。
- 都議会議員・西崎つばささんが出席します。衆議院議員・手塚よしおさんは出席の予定です。

日時: 2022年5月29日(日)
午後1時45分開場 午後2時開始 午後4時終了予定 参加費無料
会場: 緑が丘文化会館・別館・第10研修室(東急線自由が丘駅 下車徒歩7分)
住所: 目黒区緑が丘2-7-20 電話: 03-3723-8741
当日連絡先: 金井ひろし 080-5195-2909

第11回目は、区政・都政・国政についてご報告し、ご意見ご質問を頂戴したいと思います。コロナ禍と戦争の時代となり物価値上げが生活を直撃しています。生活の防衛と対策のために情報交換を考えていると思います。



5
/
29
日曜日



こんにちは! 金井ひろしです。
区政・活動報告レポートNo.12 2022年4月28日発行(通巻12号/第4巻第2号)
編集発行人: 金井ひろし 〒152-0032 東京都目黒区平町1-21-20-303
TEL: 080-5195-2909 E-mail: kanai.hi64@gmail.com



Official Web Site



金井ひろしQRコード

立憲民主党